



**西川りゅうじん**

マーケティングコンサルタント  
健康寿命をのぼそう運動  
スーパーバイザー

**堀 義人**

サイバーダイナミクス茨城ロボッツ  
オーナー兼取締役  
グロービス経営大学院 学長

**西山 大輔**

丸紅新電力株式会社  
代表取締役社長

**五十嵐 則夫**

イガラシ綜業株式会社  
代表取締役

**山谷 拓志**

株式会社茨城ロボッツ・ス  
ポーツエンターテインメント  
代表取締役社長

## バスケットボールを愛する「ブースター」とチームを結ぶ 新しい支援スタイルを提供し、地域から日本を元気に

2018年春、新しい電力プラン「ロボッツプラン」がスタートします。丸紅新電力が提供する料金プラン「プランS」の電気料金から、毎月100円を「応援金」としてバスケットボールチーム「サイバーダイナミクス茨城ロボッツ」に還元し、クラブの運営資金や選手育成資金、地域スポーツ振興活動に役立てるというプランです。2017年12月、「ロボッツプラン」プロジェクト関係者と、縁結び役である厚生労働省の健康寿命をのぼそう運動スーパーバイザー西川りゅうじん氏が池の川さくらアリーナに集まり、「茨城ロボッツ×愛媛オレンジバイキングス」の試合を観戦しました。

### 電力を通して社会と暮らしを豊かに

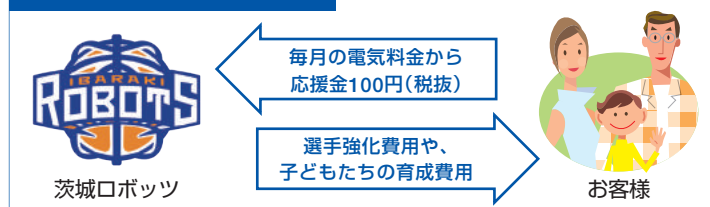
**西山:**今日はすごい試合でしたね。ゲーム第4クォーターのラスト1秒、ナンバー24のドリユー選手にボールが渡った瞬間はアリーナの全員が総立ちでした。シュートが入れば大逆点、外れれば負けてしまう、あの一瞬、観客も選手も一体となった。ボールの行方にだけ集中した瞬間があった。あの一瞬こそがスポーツ観戦の醍醐味でした。今日は勝てませんでしたが、チームを応援するという気持ちがあってこそ生まれる奇跡のような瞬間がこの国の経済、この国そのものを元気にしていく一番大事なエッセンスではないかと感じました。

私どもの親会社丸紅は全世界22カ国で約1万2000MWを発電し、総合商社No.1の発電容量を堅持しています。電気事業に関する世界規模の経験・知見・人的ナレッジを活かして、地域の皆様の課題解決や生活提案を行っていききたいという野心を持って、新電力事業にあたっております。小売事業者としてただ電気を横つなぎするのではなく、自らしっかりと電源を作り、もしくは調達して皆様に割安な電気をお届けできることが丸紅新電力の価値です。そしてコンセントの向こうの世界をより豊かにするための社会課題解決、生活提案の第一歩として今回のロボッツプランを計画しました。

**西川:**「ロボッツプラン」は丸紅新電力が行う「スポーツ応援ファンディング」としてはレバンガ北海道を応援する「レバンガプラン」に続いて2例目ですね。今回は、茨城の地元で新エネルギー関係業務を行っているイガラシ綜業が加わった3社プロジェクトとなりました。

**五十嵐:**私どもは、茨城県で太陽光発電施設や空調・衛生給水設備の設置工事などを手掛けてきました。西川さんのお引き合わせで西山社長とお知り合いになり、豊富な発電力を背景に新電力業界を切り開く丸紅新電力様の、販売だけに終わらないビジネススタイルに感銘を受けて、茨城での販売活動をお手伝いすることになりました。西山社長の「割安な電力販売に加えて、地域振興やお客様の身近なニーズに応えることで社会を豊かにしていけるようなビジネスに」というお考えに深く共鳴し、以前からスポンサー契約をしていました「サイバーダイナミクス茨城ロボッツ」にお話をつながせていただいた次第です。

### ロボッツプランのしくみ



# 当面の目標はチームのB1昇格とロボッツプラン10,000件成約

## 茨城ロボッツをキーとした地域活性化

**堀:** このプランでユーザー側は安く電力が使えるてさらにロボッツを応援することができます。丸紅新電力様の電力小売りノウハウとイガラシ綜業様の県内ネットワークを基に展開し、茨城ロボッツをキーとしてよい形で新電力を浸透させることにつながります。その結果としてロボッツに支援が集まり、強化され、茨城全域に元気を供給していくというスキームは素晴らしいと思います。

**山谷:** サッカーではファンの事をサポーターと言いますが、バスケットボールでは「ブースター」と呼びます。文字通り盛り上げる、増幅させる、そういった意味で「ブースターの皆様」という言葉よく使いますが、今回本当に強力なブースターとして丸紅新電力様、イガラシ綜業様にエネルギーを注入していただけることになり興奮しております。今年のロボッツは「B1」というスローガンを掲げています。B1クラスに上がる、またNo.1を目指す、そして支えてくださっているファンの皆様、県民の皆様が一つになるという3つの意味を込めています。将来的には日本一を目指し、東京オリンピックの年、または翌年には日本一の争いができるようにと堀オーナーとともに準備をしている状況です。ロボッツプランはそのための大きな力となります。ありがとうございます。



## チームとブースターが夢を共有

**西川:** ロボッツプランは、ご家庭から支援いただく他に企業向けの特高、高圧契約もあるそうですね。応援金の使途はどのように計画されるのでしょうか。

**堀:** ロボッツでは、各バスケットボールチームを訪問したり体育の授業に選手やチアリーダーを派遣する活動をしています。そのための移動費やチーム強化の他、ファンの皆様や子どもたちにプレゼントするグッズ制作も含め、バスケットボールを通じて夢を持っていただけるような活動経費に充当をさせていただくことを考えています。

**五十嵐:** 今日のゲームには約1,500人の一般ブースターの皆様をご来場されたということです。そこで、初年度獲得目標として契約件数1,500件を目指します。ロボッツがB1に昇格されたら、知名度も高まりますしファンも増えますから、さらに上乗せということで、中期的には10,000件くらいを目標にしたいと考えています。

## 企業・個人の社会参画に新スタイル

**西川:** 1家庭当たり年間1,200円で、10,000件なら1年で1200万円の支援金になります。パワフルな応援で期待が高まりますね。

**西山:** 丸紅新電力は電源確保などにより安価な電力供給を担保し、イガラシ綜業様とともにお客様に確実にお届けし、応援金という形で地域の皆様が茨城ロボッツを育てていくプラットフォームを創り上げます。茨城ロボッツ様のお仕事は、応援金を多くのファンが望む「勝利」のために選手育成、スタジアム改修などの投資に有効活用いただき、県民やファンの皆様の期待に応えてくださることで。ドリュウ選手あのシュート、あんなドラマをもって毎回、毎週ファンの皆様を沸かせ、最後にあのシュートが決まってロボッツがB1に行く、それを手始めに大きな目標に挑戦するロボッツと、ブースターの皆様をつなぎ合わせる仕組みをイガラシ綜業様と一緒に作り上げていきたいと考えています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

**西川:** 新電力による電力小売りの在り方や、地域スポーツ振興への一人ひとりの参画について、新しい方向性を示す取り組みとして興味深いですね。生まれたばかりのプロバスケットリーグに注目を集める効果もありそうですし、県民が新しい形で支援に参加するサイバーサイン茨城ロボッツの活躍が楽しみです。本日はどうもありがとうございました。

